

科目名		放射線衛生管理学特論	
科目責任者	岡崎 龍史	(放射線衛生管理学 教授)	
担当者	香崎 正宙	(放射線衛生管理学 講師)	
開講時期:	1年次後期	単位数:	4 単位
		時間数:	90分× 30 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>放射線衛生における放射線被曝の歴史と低線量放射線被曝の影響、医療被ばくなど放射線の課題について考えていく上で、これまでの様々なデータに基づき学び、放射線の人体への影響を正しく理解する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 放射線の種類と性質、線量単位について説明できる。 2) 放射線の物質との相互作用など基本的作用機序について説明できる。 3) 放射線の人体の影響について説明できる。 4) 放射線の障害の歴史について概説できる。 5) 放射線防護の基本理念について概説できる。 6) 放射線安全取り扱いについて説明できる。 7) 放射線管理について説明できる。 8) 放射能濃度の計算方法について説明できる。 9) 放射線に関する法令について説明できる。 			
● 評価方法	討論(40%)・発表(20%)・レポート(40%)等で総合評価する。		
● 参考文献	講義の中で必要に応じ紹介する。		

● 授業スケジュール

回	項目	内容	担当教員
1・2	放射線概論	放射線の種類と性質、利用状況	岡崎香崎
3・4	放射線の基本作用機序Ⅰ	物質との相互作用	岡崎香崎
5・6	放射線の基本作用機序Ⅱ	細胞や組織への作用	岡崎香崎
7・8	放射線に関する単位・放射線測定法	基本的な単位について、測定機器の種類	岡崎香崎
9・10	放射性同位元素と発生装置	放射性同位元素と発生装置の種類	岡崎香崎
11・12	放射線の人体影響Ⅰ	早期障害、胎児影響	岡崎香崎
13・14	放射線の人体影響Ⅱ	晩発影響、継世代影響	岡崎香崎
15・16	放射線障害	放射線障害の歴史	岡崎香崎
17・18	放射線リスクコミュニケーション	放射線リスクと他のリスクとの比較	岡崎香崎
19・20	放射線防護の基本理念	ICRPの基本理念をもとに	岡崎香崎
21・22	放射線に関する法令	放射線障害防止法、電離放射線障害防止規則	岡崎香崎
23・24	放射性同位元素の取り扱い	密封線源、非密封線源、発生装置取り扱い	岡崎香崎
25・26	放射線安全管理	線源管理、作業環境管理、個人管理	岡崎香崎
27・28	低線量放射線の健康影響	福島県及び福島原発作業員の被ばく状況	岡崎香崎
29・30	緊急被ばく医療	放射線災害における対応	岡崎香崎